

今月は I C O の 2 月 コーヒーマーケットレポート邦訳に加えトピックスとして 3 月 6 日～11 日にエチオピアのアジスアベバで開催された第 4 回世界コーヒー会議及び第 116 回 I C O 理事会についてお知らせします。



世界のコーヒー消費量は増えているが価格は下がっている

コーヒー価格は2月、若干強含んだが引き続き低い水準にある。ブラジルの2016/17年度収穫量は豊作が予想されているもののファンダメンタルズに関する新しいニュースがないため値動きは小さいものとなっている。輸入国の在庫量は増加しており、目先の供給懸念には充分対応できる状況である。2015暦年の第一回世界消費量予想を152.1百万袋とするが、2014年の150.3百万袋に比べると増加している。

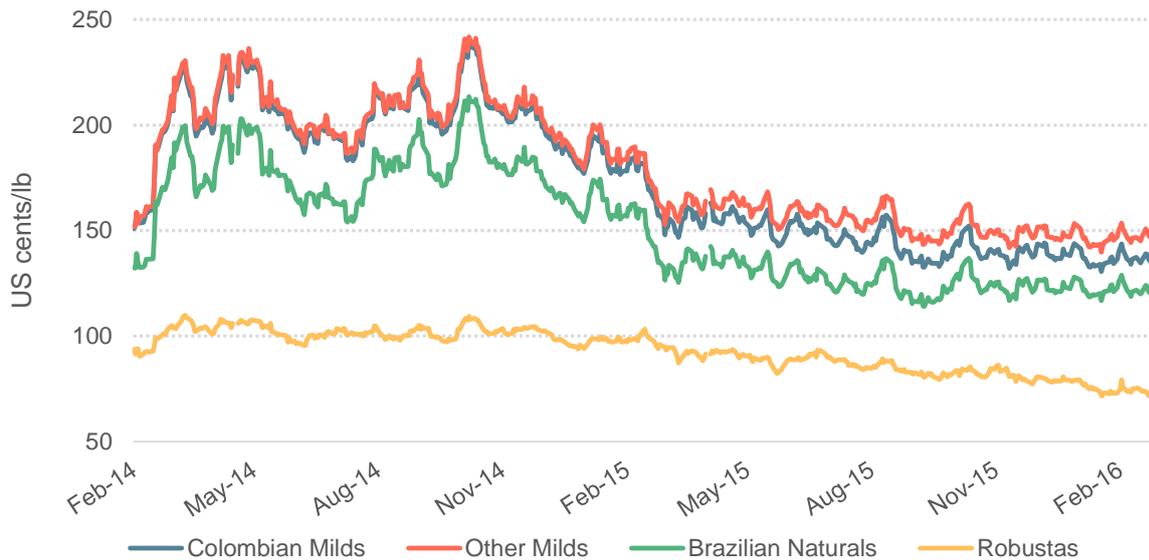
グラフ 1: ICO 日次複合指標価格



© 2016 International Coffee Organization (www.ico.org)

I C O 複合指標価格の2月月間平均値は前月比0.8%高い111.75セント/LBだったが、月末の日次価格は110.07セント/LBに下がった。3アラビカグループの平均指標価格は前月に比べ上昇したが、ロブスタの平均価格は4ヶ月連続して下げ2010年5月以来の最安値水準であった。

グラフ 2: ICO 日次グループ指標価格



© 2016 International Coffee Organization (www.ico.org)

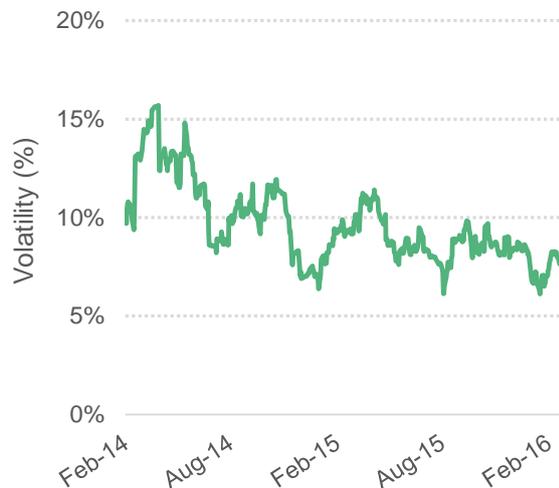
ニューヨークとロンドンのアービトラージは1月とほぼ同じだが、3アラビカグループのロブスタとの価格差（ディフェレンシャル）は全て上昇した。更に、最近アラビカグループ指標価格とニューヨーク先物価格の価格差が拡大していることから、今後先物価格が上昇する可能性があるものと考えている。

グラフ 3: ニューヨークとロンドン先物市場のアービトラージ



© 2016 International Coffee Organization (www.ico.org)

グラフ 4: ICO 複合指標価格の30日移動平均価格変動率



© 2016 International Coffee Organization (www.ico.org)

2016年1月のコーヒー総輸出量は9百万袋となり、2015年1月に比べ0.8%減少したが2015/16年度最初の4ヶ月（10月～1月）の輸出量は1.7%増え35.9百万袋となった。ブラジルの輸出量は減少し始め、1月の輸出量は前年同月比10.2%減ったが、これは国内在庫がやっと減り始めたことを示唆している、何故ならこの輸出数量はまだまだ多い水準だから

である。一方ベトナムの輸出量は10.1%増え推定2.3百万袋となった。コロンビアの輸出量は引き続き多いが、これは生産量が増えたことを示しているもので、2015/16年度の最初の4ヶ月の生産量は既に5.3百万袋に達している。

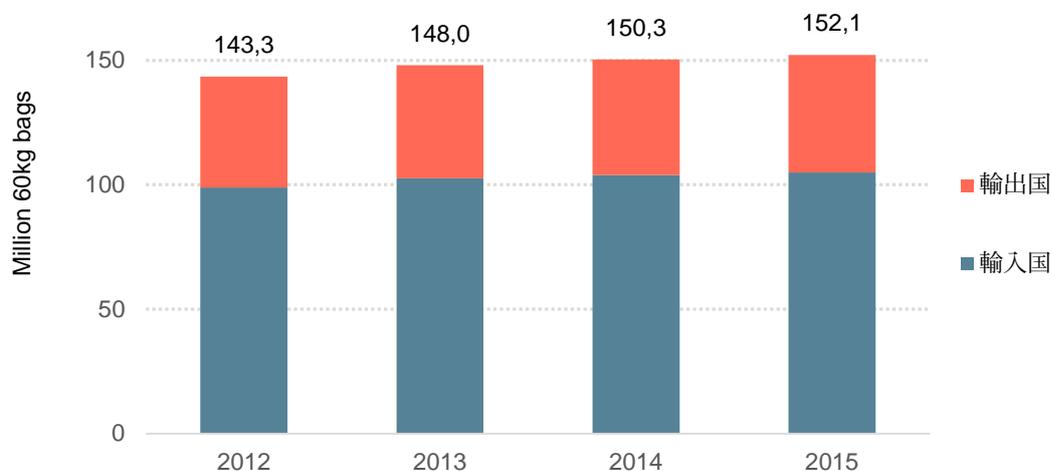
先行きについて、エルニーニョに伴う乾燥気候がベトナム、インドネシア、コロンビアの今後2~3ヶ月の生産量に悪影響を与えるだろうと多くのレポートが予想しているが、この減産はブラジルと中米地域の増産で相殺されることになるだろう。

更に、輸入国の国内在庫は増えており、欧州コーヒー連合（ECF）のレポートによると、一昨年末11.5百万袋のコーヒー生豆在庫量が2015年末には11.9百万袋に増えたとのことである。また、米国グリーンコーヒー協会は同じように同期間、米国の国内在庫量が5.5百万袋から5.8百万袋に増えたと報告しており当面の供給懸念には対応できる状況である。

2015暦年の世界コーヒー消費量の第一回予想数値を152.1百万袋とするが、2014年の150.3百万袋に比べ増加している。過去4年間の平均成長率が2%だったことを考えると増加率は僅かに減少している。最大の消費地域であるEUの消費量は42百万袋であり2012年以來の平均成長率は0.8%と低迷しているが、米国の消費量は24.4百万袋となり、平均成長率は3.2%と旺盛なコーヒー需要が続いている。日本の消費量も継続的に拡大し7.6百万袋となり平均成長率は2.4%となっている。結果として、輸入国全体の消費量は推定104.9百万袋である。

近年輸出国の需要は全般的に活発であり、この傾向は2015年も継続している。ブラジルの平均成長率は0.5%に低下しているが、2015年の消費量は20.5百万袋を維持している。最近、消費量の伸びが特に著しいのは、インドネシア、フィリッピン、インド、タイなどのアジアであり、成長率は4.5%~9%になっている。輸出国全体の消費量は推定47.3百万袋であり、過去4年間の平均成長率は2.3%である。

グラフ 5: 世界コーヒー消費量 (暦年)



© 2016 International Coffee Organization (www.ico.org)

表 1: ICO 指標価格及び先物価格(US cents/lb)

	ICO Composite	Colombian Milds	Other Milds	Brazilian Naturals	Robustas	New York*	London*
Monthly averages							
Feb-15	141.10	174.11	178.89	151.90	98.36	159.55	89.76
Mar-15	127.04	154.29	160.74	133.55	92.16	139.70	82.94
Apr-15	129.02	157.06	164.00	136.70	92.06	141.79	82.71
May-15	123.49	150.19	158.48	130.38	87.56	135.22	78.03
Jun-15	124.97	152.02	159.76	130.51	90.25	135.86	80.25
Jul-15	119.77	144.52	154.45	123.64	87.12	128.59	77.16
Aug-15	121.21	146.96	156.92	127.24	85.78	132.42	76.25
Sep-15	113.14	135.55	146.15	117.83	81.50	121.66	71.53
Oct-15	118.43	143.10	153.25	127.47	82.78	129.45	72.89
Nov-15	115.03	138.63	147.98	122.95	81.74	122.35	72.04
Dec-15	114.63	139.89	148.66	123.73	79.28	123.77	70.02
Jan-16	110.89	135.21	145.03	121.21	74.71	120.20	65.67
Feb-16	111.75	137.17	147.70	122.24	74.04	119.25	64.96
% change between Feb-16 and Jan-16							
	0.8%	1.4%	1.8%	0.8%	-0.9%	-0.8%	-1.1%
価格変動率 (%)							
Jan-16	5.9	6.2	6.2	6.8	5.7	7.3	5.7
Feb-16	6.7	6.7	6.0	7.1	9.4	7.6	6.4
Variation between Feb-16 and Jan-16							
	0.7	0.5	-0.2	0.4	3.7	0.3	0.7

* 第2限月及び第3限月の平均値

表 2: 価格差 (US cents/lb)

	Colombian Milds	Colombian Milds	Colombian Milds	Other Milds	Other Milds	Brazilian Naturals	New York*
	Other Milds	Brazilian Naturals	Robustas	Brazilian Naturals	Robustas	Robustas	London*
Feb-15	-4.78	22.21	75.75	26.99	80.53	53.54	69.79
Mar-15	-6.45	20.74	62.13	27.19	68.58	41.39	56.76
Apr-15	-6.94	20.36	65.00	27.30	71.94	44.64	59.08
May-15	-8.29	19.81	62.63	28.10	70.92	42.82	57.19
Jun-15	-7.74	21.51	61.77	29.25	69.51	40.26	55.61
Jul-15	-9.93	20.88	57.40	30.81	67.33	36.52	51.43
Aug-15	-9.96	19.72	61.18	29.68	71.14	41.46	56.17
Sep-15	-10.60	17.72	54.05	28.32	64.65	36.33	50.13
Oct-15	-10.15	15.63	60.32	25.78	70.47	44.69	56.56
Nov-15	-9.35	15.68	56.89	25.03	66.24	41.21	50.31
Dec-15	-8.77	16.16	60.61	24.93	69.38	44.45	53.75
Jan-16	-9.82	14.00	60.50	23.82	70.32	46.50	54.53
Feb-16	-10.53	14.93	63.13	25.46	73.66	48.20	54.29
% change between Feb-16 and Jan-16							
	7.2%	6.6%	4.3%	6.9%	4.7%	3.7%	-0.4%

* 第2限月及び第3限月の平均値

表 3: 輸出国の総生産量

Crop year commencing	2012	2013	2014	2015	% change 2014-15
TOTAL	147 953	146 615	141 376	143 371	1.4%
Arabicas	88 471	87 001	84 397	84 309	-0.1%
<i>Colombian Milds</i>	11 523	13 488	14 549	14 853	2.1%
<i>Other Milds</i>	29 017	26 822	25 896	27 244	5.2%
<i>Brazilian Naturals</i>	47 930	46 690	43 953	42 211	-4.0%
Robustas	59 482	59 614	56 978	59 062	3.7%
Africa	16 668	16 271	16 085	17 074	6.1%
Asia & Oceania	45 681	46 527	44 623	46 589	4.4%
Mexico & Central America	18 481	16 585	17 390	18 462	6.2%
South America	67 122	67 233	63 278	61 246	-3.2%

単位：千袋

Full production data are available on the ICO website at www.ico.org/trade_statistics.asp

表 4: 輸出国の総輸出量

	January 2015	January 2016	% change	October - January		
				2014/15	2015/16	% change
TOTAL	9 041	8 964	-0.8%	35 251	35 865	1.7%
Arabicas	5 526	5 603	1.4%	21 368	23 189	8.5%
<i>Colombian Milds</i>	1 149	1 199	4.3%	4 477	4 986	11.4%
<i>Other Milds</i>	1 527	1 706	11.7%	5 093	5 809	14.1%
<i>Brazilian Naturals</i>	2 850	2 699	-5.3%	11 798	12 394	5.0%
Robustas	3 514	3 361	-4.4%	13 882	12 676	-8.7%

単位：千袋

Full trade statistics are available on the ICO website at www.ico.org/trade_statistics.asp

表 5: ニューヨーク及びロンドン先物市場の認証在庫量

	Feb-15	Mar-15	Apr-15	May-15	Jun-15	Jul-15	Aug-15	Sep-15	Oct-15	Nov-15	Dec-15	Jan-16	Feb-16
New York	2.56	2.60	2.56	2.41	2.43	2.38	2.36	2.28	2.15	2.08	1.95	1.82	1.76
London	2.55	2.84	2.93	3.02	3.12	3.35	3.43	3.43	3.37	3.35	3.31	3.23	3.04

単位：百万袋

表 6: 世界コーヒー消費量

Calendar years	2012	2013	2014	2015	CAGR (2012-2015)
World total	143 348	148 003	150 339	152 149	2.0%
Exporting countries	44 441	45 445	46 494	47 292	2.1%
Importing countries	98 907	102 558	103 845	104 857	2.0%

CAGR: Compound Annual Growth Rate

単位：千袋

ートピックスー

3月6日～3月11日エチオピアのアジスアベバで第4回世界コーヒー会議及び第116回I C O理事会が開催されましたのでその概要をご報告します。

第4回世界コーヒー会議

『コーヒー文化とその多様性を育てる (Nurturing Coffee Culture and Diversity)』をテーマとした第4回世界コーヒー会議は海外からの参加者510名を含む1000人を超える出席者を得て3月6日～8日、厳重な警備のなか盛大に催された。毎晩レセプションが開催されたが、特に3月7日の晩餐会は首相夫妻を始めとする700人程がシェラトンホテルの大宴会場に会する大規模なもので、アップテンポの民族舞踊が披露され多くの出席者が楽しんだ。主会場のアフリカ国連会議場では2日間に亘るパネルディスカッション及びコーヒー輸出業者・関連器具メーカーなど50社程が出展する展示会が同時に開催された。パネルディスカッション初日は、パネル1『多様性及び持続可能なコーヒー文化に向けて (Toward a Diverse and Sustainable Coffee Culture)』,パネル2『世界のコーヒー消費の傾向』、パネル3『スペシャルティコーヒーの傾向』が夫々議論された。2日目は、パネル4『気候変動とコーヒー』、パネル5『生産性向上の為の技術革新及び公政策の役割』、パネル6『持続可能なコーヒー産業実現の為の男女平等の促進』(このパネルは世界女性の日に当たる3月8日に意図的に企画されたもので、特に首相夫人がオープニングスピーチを行った)、パネル7『コーヒー価格及びボラティリティ』等が討議された。各パネルの討議時間は1時間から1時間半と短かった為、3～5名のパネラーが自分の主張を述べ、問題提起するに留まったという印象だった。しかし、前回のミラノのグローバルコーヒーフォーラムに参加しなかった中国が、今回は持続可能な生産及び消費傾向の2つのパネルにパネラーとして出席、アフリカの牙城は手放さないという強い意気込みを感じた。議論の内容は2～3週間後にI C Oホームページで紹介される予定なので興味のある方はアクセスして頂きたい。

第116回理事会

エチオピア農業・資源大臣及びブラジル外務大臣が開会の挨拶をした後、Silva 事務局長から新たに加盟したコンゴとペルーの紹介があり、中国・ラオスの加盟に注力しているとの報告があった。新らしく就任した執行役 (Head of Operation) Marcela Urenya 氏がコーヒー市場の現状として主要生産国、消費国の生産・消費量見通し及び中期的に25～30百万袋コーヒーが不足するとの市場見通しを紹介した。チーフエコノミストの Denis Sedieu 氏は『アフリカの農村における世代交代の問題』について報告した。コートジボアール代表が2017年もしくは2018年の9月に自国でI C O理事会を開催することを提案し承認された。

財務運営委員会

米国代表の Amy Diggs 氏が議長に就任し、事務局から 2014/15 年度の決算内容（収入 3,167 千ポンド、支出 2,804 千ポンド、剰余金 362 千ポンド）の説明があり、承認された。2015/16 年度の 1 月末までの予算消化状況及び 2016/17 年度の予算が報告された。生産国が過去に拠出し未使用の特別基金（1,370 千米ドル）の処分方法について生産国間で分配することが決められたが、分配方法は 2016 年 9 月 I C O 理事会で最終決定されることになった。2017 年 3 月にリース切れとなる I C O ロンドン事務所の移転先について事務局から様々な角度からの検討結果が説明され、今年 9 月理事会までに最終候補を絞り込むことが決められた。Silva 事務局長の 5 年間の雇用契約延長（2016 年 9 月が期限）について検討された。当初簡単に承認されると思われていたが、EU 代表が強引に『環境が厳しい中、広く人材を求めるべきだ』と主張し、EU 以外の全員が Silva 氏支持と思われるほどの状況でありながら事態は紛糾し、別途主要数ヶ国の小グループで話し合いがもたれることとなり、翌日の理事会に議論は持ち越された。翌日再討議されるも EU は引き下がり結局 9 月の理事会までに本年 10 月 1 日以降の事務局長を決めるということが決まった。最後に 20 分だけ討議が延長され、サルバドル、メキシコ、コロンビア、ケニア、日本、シオラレオーネ等の代表が Silva 氏を支持するという旨の発言をし、ブラジル代表が支持してくれた国への感謝を述べて締めくくられた。場外では、一地域のみ反対で Silva 氏が再選されないのは民主的とは言えないなどの不満が聞かれた。

民間部門諮問委員会（P S C B）

議長のインドネシアスペシャルティコーヒー協会会長の Leman Pahlevi 氏が欠席で Silva 氏が議長を務めた。Malcela 執行役が昨年の 10 月 1 日『世界コーヒーの日』について報告し、今年はロンドンで開催するので具体的提案あれば連絡して欲しい旨の話があった。米国スペシャルティコーヒー協会の Ric Rhinehart 氏が世界コーヒー研究所と共同で開発したコーヒーの香りのテスティング法についてスピーチし、同社ホームページに掲載するので参考にして欲しいと話した。エチオピア世界コーヒー会議の総括がなされ欧州スペシャルティコーヒー協会（S C A E）などから前向きなコメントがあったが、全協からも過去の残留農薬問題に触れ、全協が調査団を派遣し原因が古い麻袋にあることを突き止めたこと、その後エチオピア政府が輸出に新麻袋を使う条例が出されたことで問題が解決し取引量が元の水準に復したことを説明した。場外から、中国コーヒー協会総書記の Lucy Fu 氏から中国政府が I C O に加盟するまでに時間がかかりそうなので、その間 P S C B メンバーとして活動したいとの申し出があり、Silva 氏が今年 9 月の理事会で検討したいと話した（理事会最終日の各委員会報告で Silva 事務局長がこの内容を報告したところ、EU 代表が中国コーヒー協会を P S C B に入れるべきだと主張し、Silva 事務局長が 9 月の会議で前向きに検討すると応えたところ、EU 代表が再度、2016 年 10 月 1 日から中国を P S C B の正メンバーとして加入させるようにと強く主張する場面があった）。

販売促進・市場開拓委員会

Mexico が議長に選ばれ、Marcela 執行役が Oxfam の『Caffe Sospeso』プログラムについて、3000 ユーロしか献金が集まらずコスト割れになったので活動を中止することになった旨報告した。2016 年 10 月 1 日世界コーヒーの日のテーマは『For the Love of Coffee』にするとの話がされた。

プロジェクト委員会

タンザニアの代表が議長に決まり『ウガンダにおける女性と若者のコーヒーバリューチェーンへの参加を促進するプロジェクト』が検討、承認された（理事会でも承認された）。

統計委員会

ポーランド代表が議長に決まり、インスタントコーヒーの生豆換算率について説明あり、ブラジルコーヒー工業協会（ABIC）が換算率 2.5 を主張、欧州コーヒー連合（EUF）及び全協が 2.6 を提案しているという説明があり、今後 3 年間は現状のまま 2.6 を維持することが決まった。ICO で決められている資料の提出状況が報告され特に生産国のレポート状況が悪いのでルールを遵守するよう要請された。

最後に ICO 理事会には農林水産省食料産業局から向江拓郎課長補佐に、外務省経済局からは龍道友和研究調査員に出席して頂きましたので併せご報告します。

以上